

科目コード: 1100

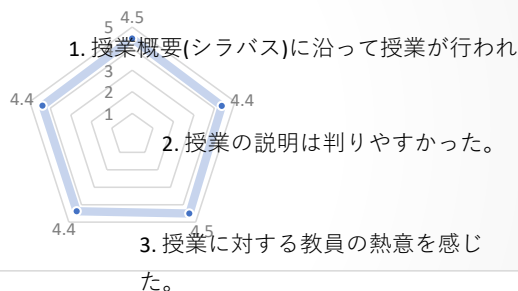
科目名 幼保1年 専門科目

回答者数: 794 名

設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	431	307	52	4	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	411	284	79	15	5	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	473	258	56	6	1	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	398	306	83	7	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	416	285	75	12	6	4.4
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～

この授業を受講したことによって、5.
この分野の学びを深めたいと思った。
質疑や課題に対するフィードバックが
4. あった。



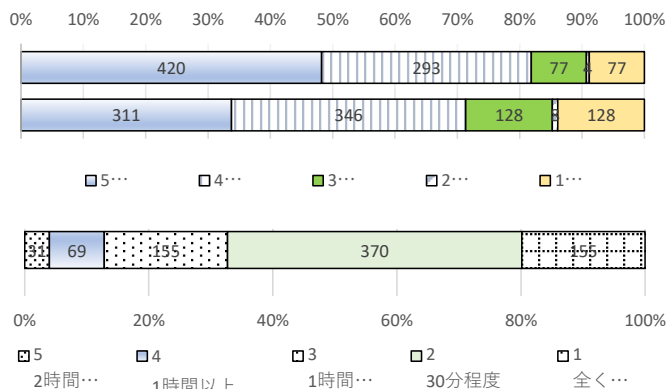
設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	420	293	77	4	77	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	311	346	128	8	128	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	31	69	155	370	155	2.3

2. 学習に対する自己評価について

あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。

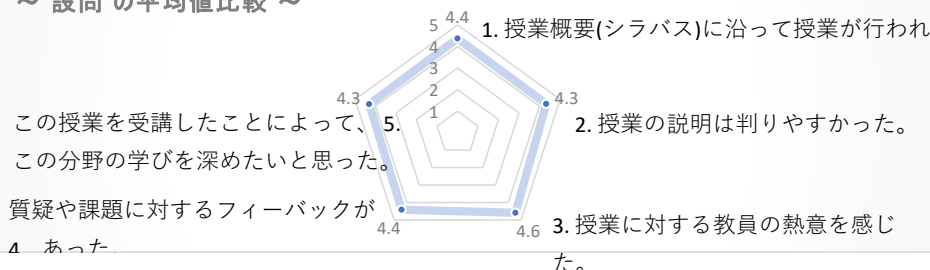
議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。

この授業一回につき、平均してどのくらい授業外学



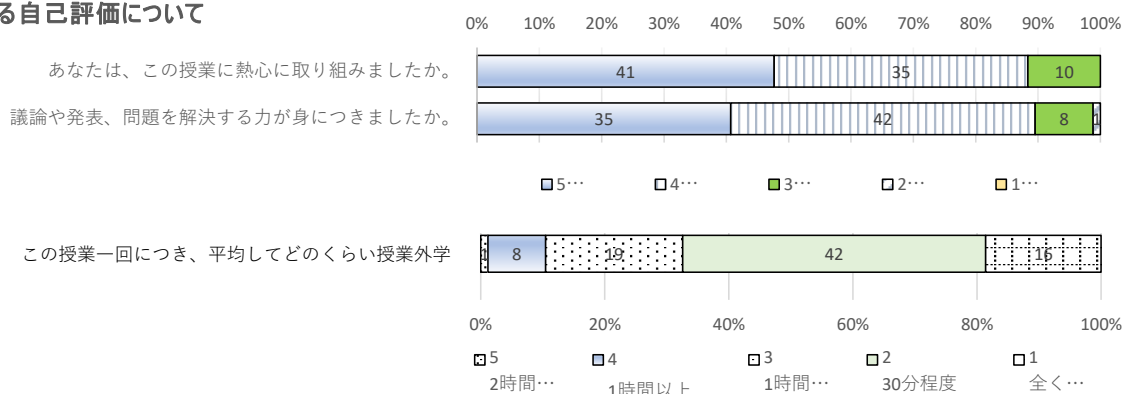
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	44	32	8	2	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	44	30	9	2	1	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	61	18	4	2	1	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	47	29	8	2	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	43	30	10	2	1	4.3
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	41	35	10	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	35	42	8	1	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	8	19	42	16	2.3

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

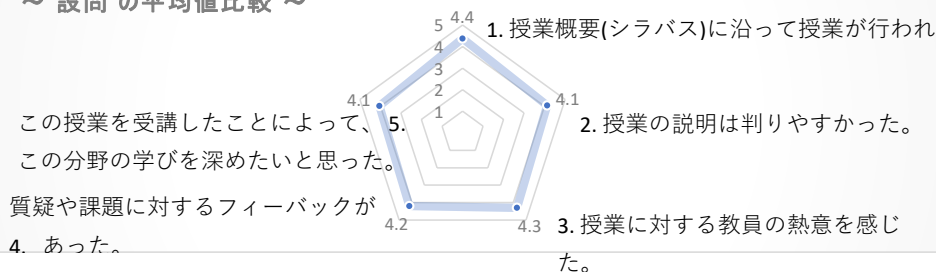
子どもや幼児教育・保育、子育てなどを取り巻く現実社会の様子に目を向けさせるために、毎回の授業で新聞の関連記事を紹介し、考えさせた。身近な話題にはよく反応していたが、法改正や行政の組織等に関する内容が出てくると、その解説のコメントも含めて、「難しい」「分かりにくい」という印象に繋がってしまうのかもしれない。

②課題と展望(授業改善方策)

説明を聞いて、「分かった」「分かりにくい」ということは、結局受け身の姿勢を脱し切れていないということ。自ら課題を見つけて、様々な手立てを講じ、その課題を解決することができれば、分かったかどうかではなく、達成感や成就感が生まれるはず。保育者を取り巻く現実の様々な問題について、学生自身の問題意識を引き出すための工夫をしていきたい。

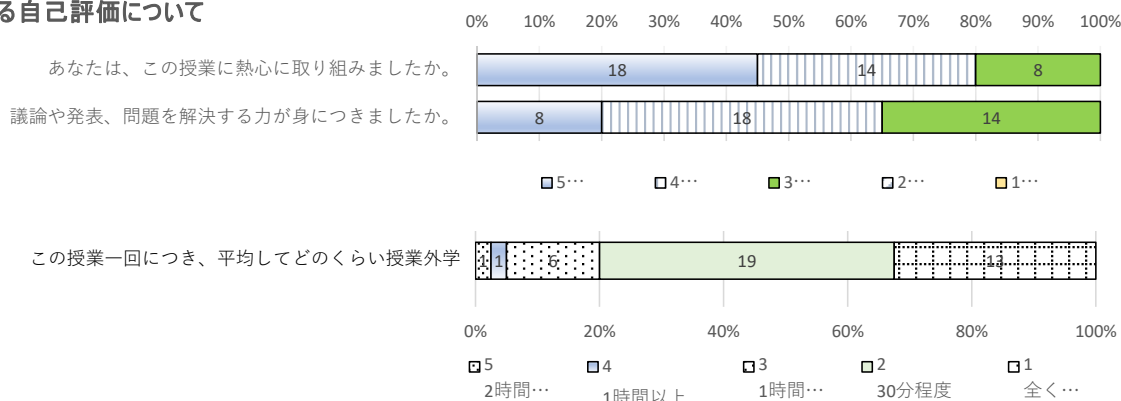
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	18	19	3	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	15	15	10	0	0	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	19	15	5	1	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	16	16	8	0	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	14	15	10	1	0	4.1
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	18	14	8	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	8	18	14	0	0	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	1	6	19	13	2.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

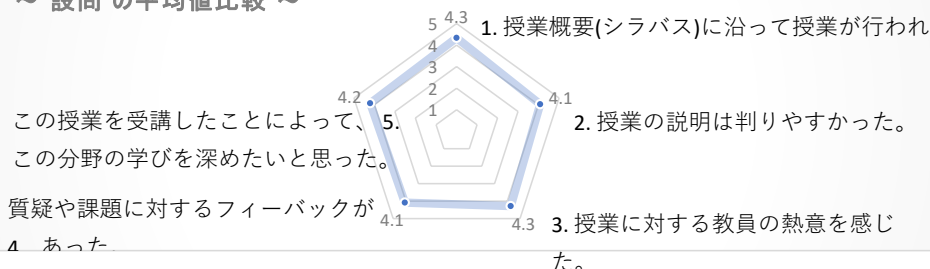
幼児保育学科1年生91名の内、40名のアンケート回収(44%)と淋しい結果となった。コロナ禍にあって、15回のうち最初の5回が60分の短縮、以降は90分の授業ができた。アンケートではサイトからの入力に徹底しきれなかった。プリント及びパワーポイントによる講義式の授業で、毎時間、その日の重要ポイントを課題としてレポートにまとめさせ、その提出を評価の重要な柱とした。タイムリーな新聞記事、具体的な事件を、取り上げ、グラフや表を用いて説明したが、なかなか学生の興味を引く内容とするのが難しかった。定期試験の結果を見ても、学習内容を理解しているとは言えない学生も多かった。将来、教育者の一員として社会に出るにあたって最低限の教育界の知識を持って欲しいと願い、時事問題や最新のニュースに触れつつ、公的機関のホームページや、分かりやすい図表なども用いて、興味を持ってもらえる内容を工夫した。

②課題と展望(授業改善方策)

定期試験の結果を見ても、基礎的な知識すら定着していないと痛感している。大部の教科書の8割がた消化するという詰め込みであったので、次年度は、思い切って内容を絞り、エッセンスの部分のグループ協議なども入れつつ、記憶に残るよう工夫したい。資料も、ただ見せるだけでなく、自分から調べさせるなど、行動を伴うような形式を工夫したい。

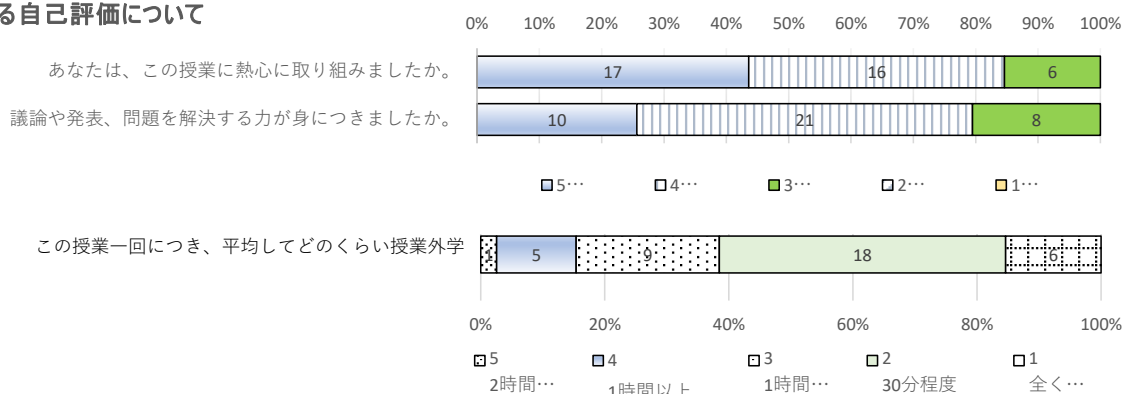
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	16	20	3	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	12	19	7	1	0	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	16	18	5	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	12	18	9	0	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	15	17	7	0	0	4.2
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	17	16	6	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	10	21	8	0	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	5	9	18	6	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

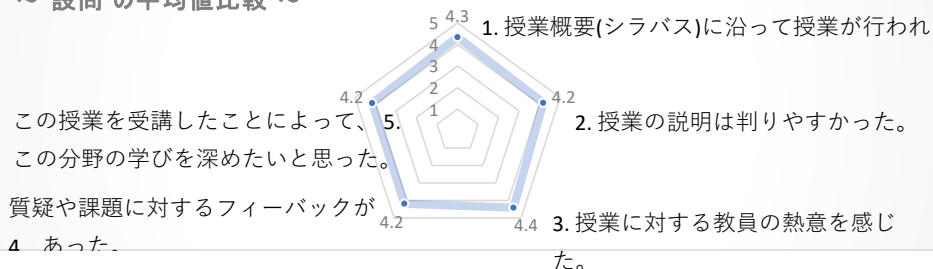
シラバスに沿い、概ね良好に進められたと思います。幼保の学生さんでも食に興味関心を持てるように心掛けました。授業の中で、保育園の現場の状況も学生さんに伝え、子どもとの関わりやマナー等について大切さをお話しました。教科書と食品成分表を用いて、学生さんも自身の健康に配慮した豊かな食生活ができるように促しました。ポイントをノートに書き、プリントを貼り、振り返った際に分かり易く、自分の為になるノート作りを行いました。調乳実習、幼児食調理実習を行い、実習を通して理解を深めました。栄養指導(媒体発表)では、日本の伝統行事や食育に関わる発表をし、クラスで共有し、質問や意見を出し合いました。

②課題と展望(授業改善方策)

より分かり易い授業を行い、食に興味関心を持った保育者を育成できるように心掛けて参ります。必要に応じて予習・復習をできるように、分かり易く課題を出し、意欲的に取り組めるようにしていきたいです。

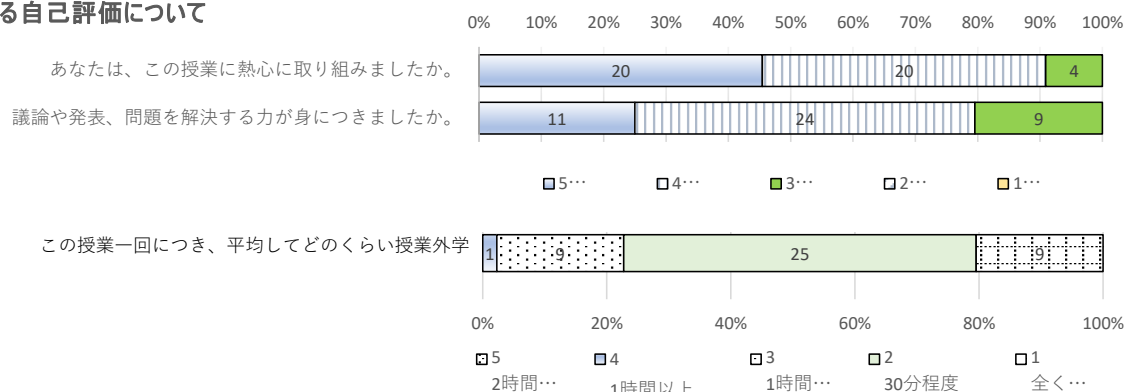
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	18	23	3	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	17	20	6	0	1	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	21	20	3	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	14	24	6	0	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	15	23	5	0	1	4.2
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	20	20	4	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	11	24	9	0	0	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	1	9	25	9	2.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

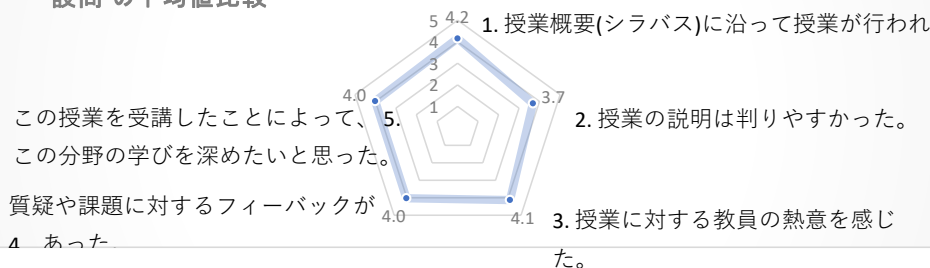
総平均が昨年度は4.4だったのが今年度は4.3であり、ほぼ同等の満足度が得られたと思われる。昨年度に引き続き、できるだけ「実践・体験・グループワーク」を取り入れ、「教育実習Ⅰ」と関わらせて実施したのは学生の理解につながったと考える。

②課題と展望(授業改善方策)

後期になって初めて90分授業が開始されたばかりの時は、60分が過ぎると急に集中力が切れるのが見て取れたので、映像教材を利用したり、発表や様々な作業を取り入れるなどの工夫をし、効果があった。また、好評であった「実践・体験・グループワーク」は今後も取り入れるとよいと思う。

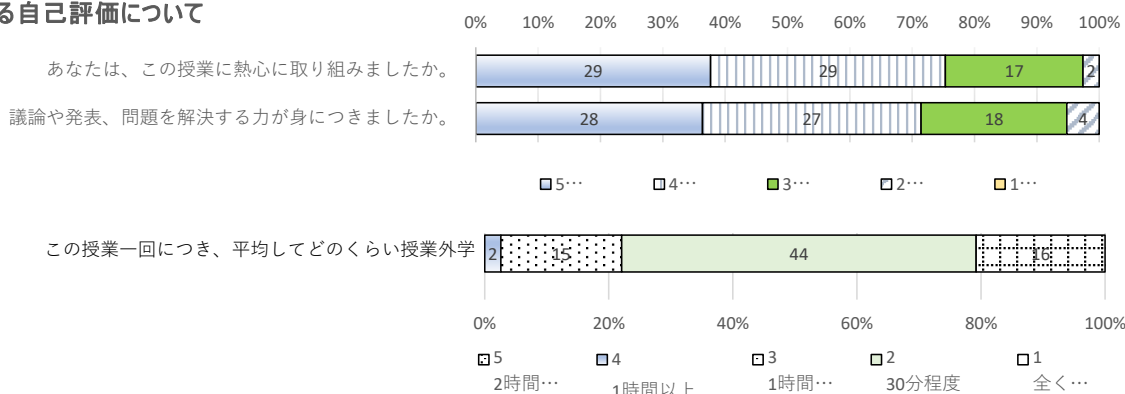
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	29	33	13	2	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	19	29	16	11	2	3.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	31	27	17	2	0	4.1
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	26	29	20	2	0	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	26	32	14	4	1	4.0
総平均							4.0

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	29	29	17	2	0	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	28	27	18	4	0	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	2	15	44	16	2.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

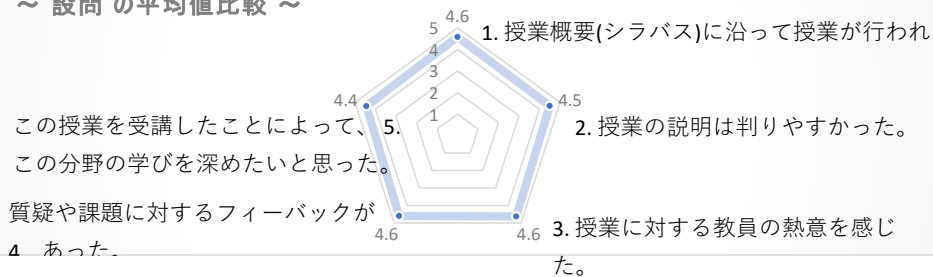
「幼児が周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていくことができるための指導力を身につける」という大きな目標のもと、前期に学んだ「環境」の授業を踏まえ保育の構想、学習理論、指導案の作成、模擬授業等に取り組んだ。アンケートの記述には模擬授業ができてよかった、指導の力が身についたという記述が見られ、大方の学生が授業力を身につけられたのではないかと考える。一方で、学生の皆さんも教員も一生懸命取り組み、コメントを付した学習レポートが突然のリポートによる授業に変わってしまったため学生の皆さんへ返却ができないこととなってしまった。深くお詫びしたい。返却できていない学生は、ぜひとりにきてほしい。

②課題と展望(授業改善方策)

パワーポイントをホワイトボードに写し、そこに書き込むという授業をすることで、どのような指導のポイントがあるのか、とてもわかりやすく充実した授業であったという記述が見られたが、さらに工夫をしていきたい。一方で、もう少しゆっくりやってほしかったという学生も見られた。新型コロナ対応のため対面での授業時間が限られ例年のような授業時間を充足することが難しかったが、時間外学習の課題の出し方の改善を通して問題を解決していきたい。加えて、学生が保育者として授業をすることの楽しさを実感できる授業改善を図りたい。

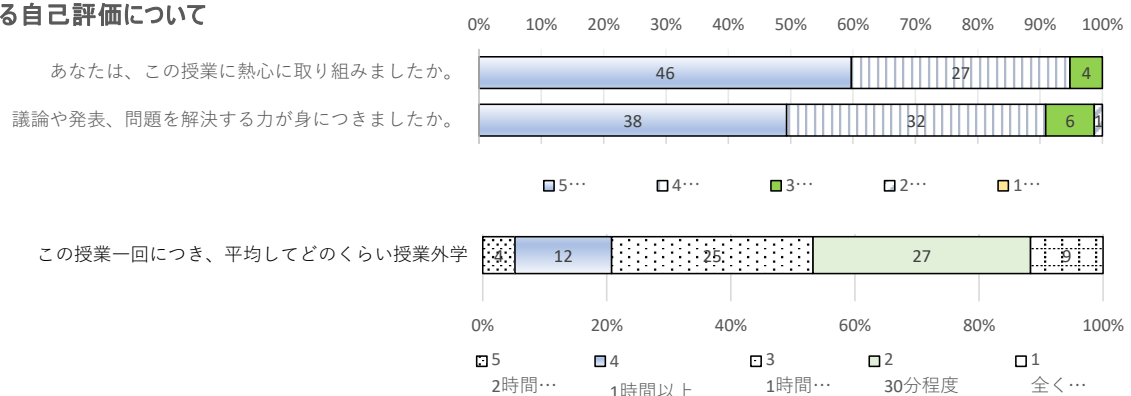
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	48	26	3	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	47	23	6	0	1	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	54	18	4	1	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	51	22	3	1	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	46	24	4	1	2	4.4
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	46	27	4	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	38	32	6	1	0	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	4	12	25	27	9	2.7

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

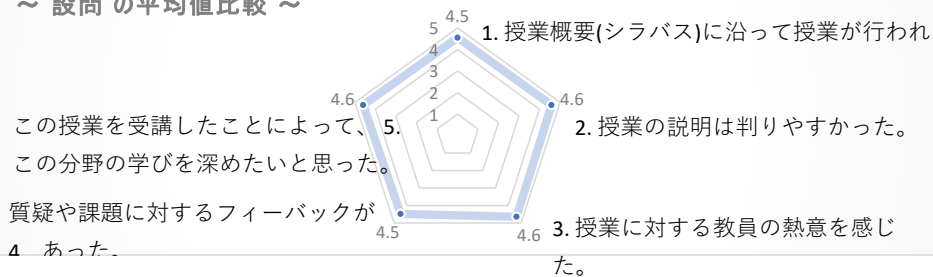
教材製作と作った教材の発表を通して、幼い子どもの言葉の育ちを支える保育者をめざす授業展開だった。やることが比較的明確であり、製作過程での仲間とのコミュニケーションが図れることも、学生の充実感に繋がっているものと思われる。

②課題と展望(授業改善方策)

造形表現の科目ではなく、子どもの言葉の成長について考える科目なので、製作よりも子どもの言葉の成長を支援することそのものについての学びをもっと深めなければならない。前期の「言葉」の授業内容との関連性を更に深めていくための工夫が必要であると考え。また、実習での経験を生かした学びの展開も工夫していきたい。

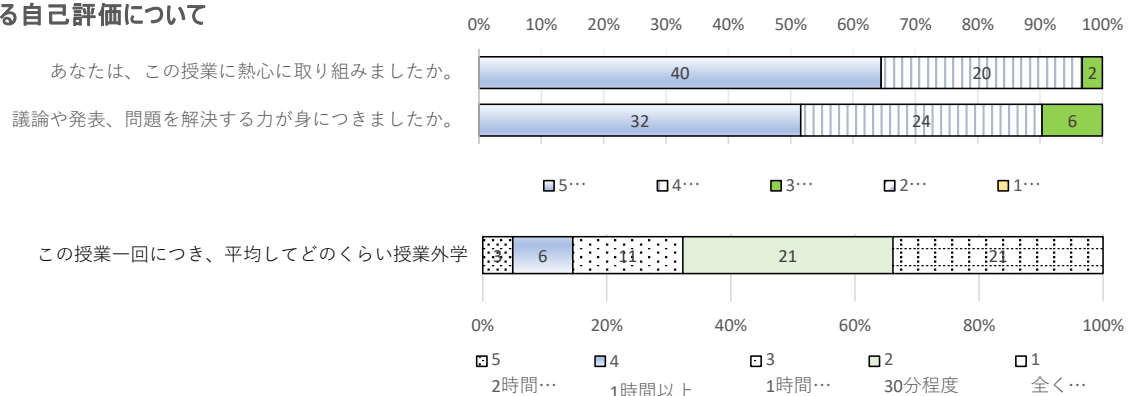
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	36	24	2	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	37	24	1	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	41	20	1	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	34	24	4	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	39	21	2	0	0	4.6
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	40	20	2	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	32	24	6	0	0	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	6	11	21	21	2.2

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

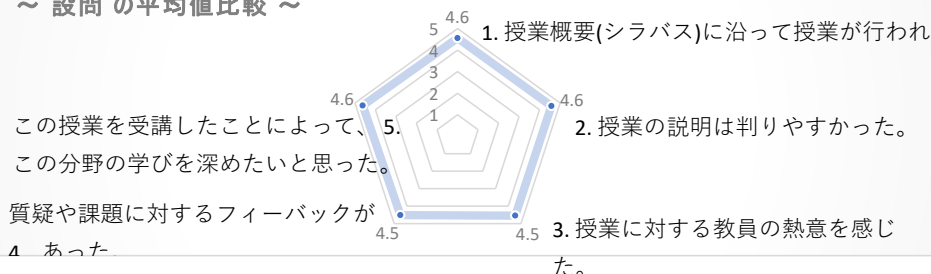
90分授業に戻ったことによって、準備(10分)⇒活動(70分)振り返り・片付け(10分)と計画し、時間に余裕をもって行うことができた。学生も本授業に対しての毎回の見直しを持つことができ、計画的に授業を行うことができた。本授業のねらいや目的、準備するもの、参考となるプリントを授業前に準備しておいた。学生はねらいを達成できるような援助について考えることもでき、次の授業に向けて意欲的に取り組むことができたと感じる。

②課題と展望(授業改善方策)

課題として、シラバスの個人で製作し、製作帳に綴じ提出する内容となり、学生同士でグループワークやグループ製作などを取り組む内容が薄かった。コロナ対策もあるが、グループで行える活動を増やし、コミュニケーション能力につなげ、幼稚園や保育園実習の子どもたちに役立つような授業内容を考えていきたいと感じる。

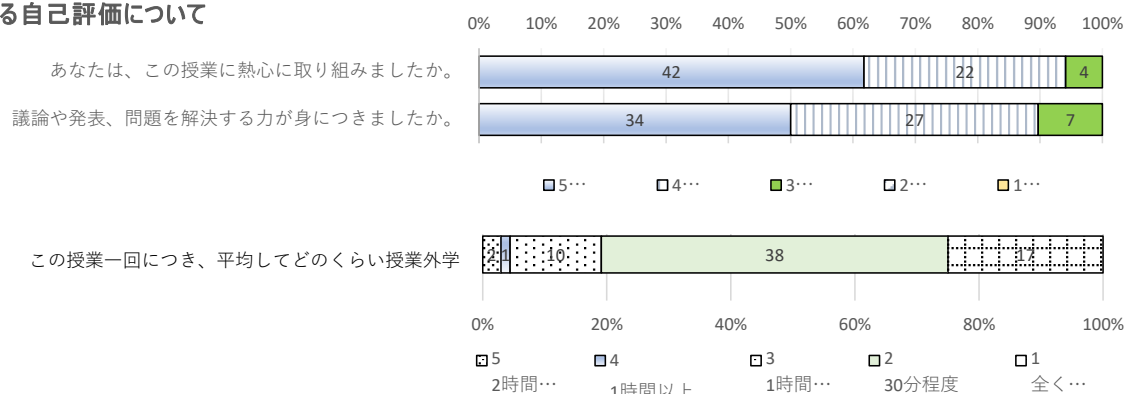
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	42	22	4	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	43	21	4	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	40	25	3	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	40	23	5	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	45	20	3	0	0	4.6
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	42	22	4	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	34	27	7	0	0	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	1	10	38	17	2.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

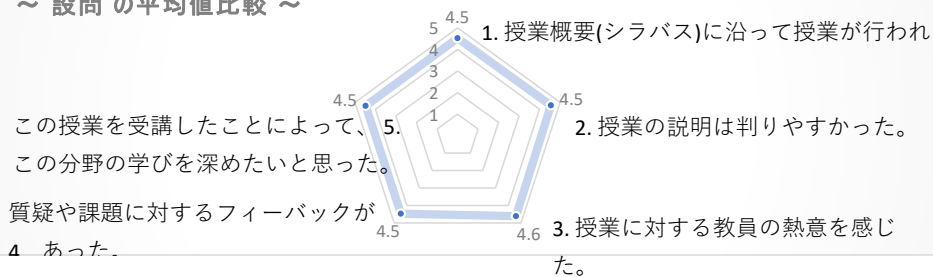
今年度は、前半が60分授業と30分課題の形態であったが、ひとり一人真剣に課題に取り組む姿がみられた。社会の様々な変化に対応することは、これからの社会人生活においても大切なことであり、良い経験に繋がると感じた。演習授業では、感染予防に留意し行い、座学での授業より真剣に、取り組む姿や子どもへの慈愛をこめた接し方、話し方を実践することが出来たと感じた。学習時間については、課題を適宜実施することで、授業の復習や、テスト対策にもつなげていくことが出来た。

②課題と展望(授業改善方策)

社会のCOVID-19の感染者が急増する中、オンラインや対面など、学校側が迅速に対応していくことで、学生にも切れ目なく授業を実施することができた。演習に関しては、乳児人形を使用する機会を設けることができたが、感染予防対策を行い、グループでの演習が密にならないよう留意するため、学生一人に対しての演習時間が少なくなっていた。ひとり一人が十分に演習ができ、発表が出来るよう、工夫していきたい。また、授業内容の復習に取り組むことが出来るよう、課題の充実と強化をしていきたい。

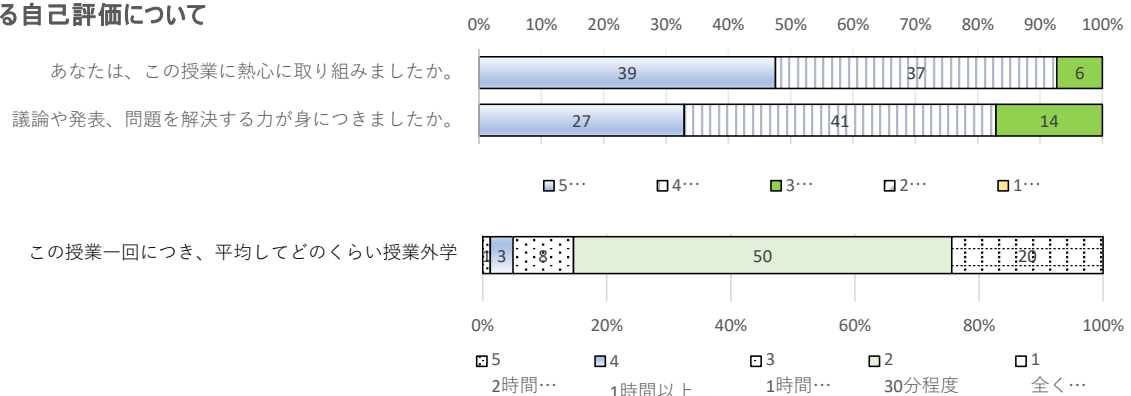
設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	45	35	2	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	48	31	3	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	52	28	2	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	42	36	4	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	43	36	2	1	0	4.5
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	39	37	6	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	27	41	14	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	3	8	50	20	2.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

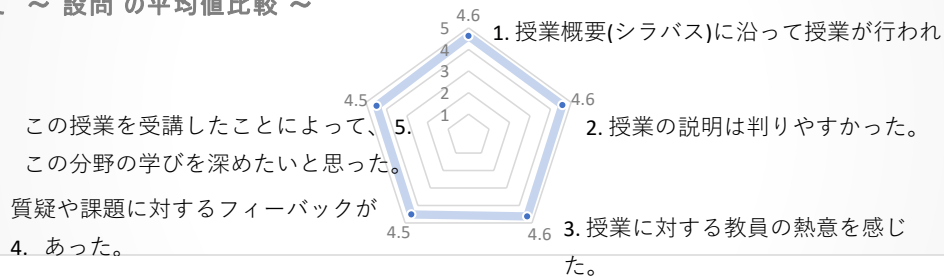
特別な教育的ニーズのある子どもに係る学びの導入として、障害児、あるいは、何らかの困りがある子どもへの注目を促すことにはつながった。

②課題と展望(授業改善方策)

特別支援教育データベースを活用した教材検索と使用法検討、新聞記事を活用した障害当事者と支援者の実際の探求等を多く取り入れたが、学生が事前に学修を行ってから臨む、また、議論の時間を設ける等の主体的・対話的で深い学びが実践されておらず、受け身を学生に求めることとなってしまった。対話型の授業プログラムについて研究することを実施したい。

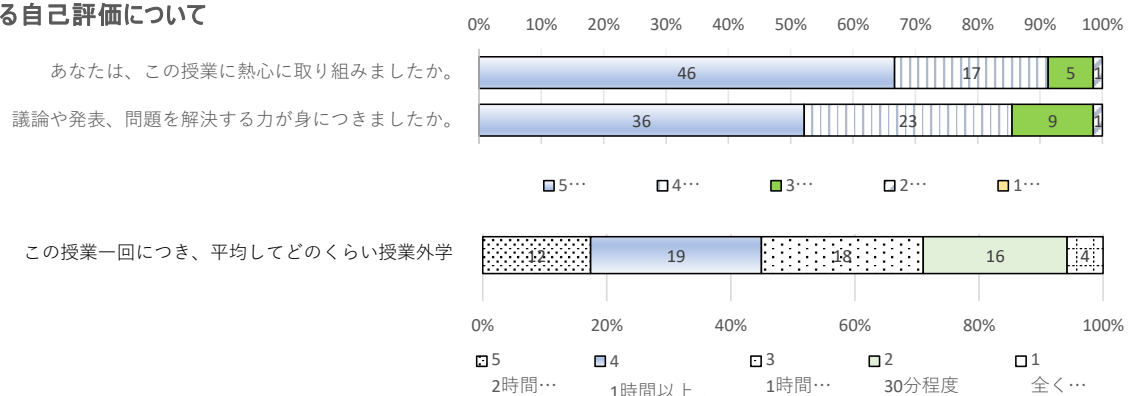
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	47	18	4	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	46	18	4	1	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	48	16	5	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	42	20	7	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	42	20	6	0	1	4.5
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	46	17	5	1	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	36	23	9	1	0	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	12	19	18	16	4	3.3

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

設問Ⅰにおける5つの質問項目について、全ての項目で4.5ポイント以上、総平均で4.6ポイントであった。良好な結果だと考えられる。受講者に占める回答者数の割合を高める取り組みを行うことで、授業改善にむけたより効果的な検討が行えると考えられる。

設問Ⅱの「(3)この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。」について、3.3ポイントであったが、入学前のピアノ経験によって、授業時間外学習の時間数は影響を受けることが推測される。

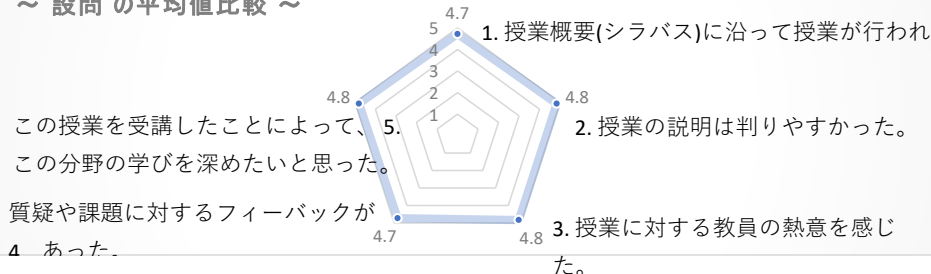
②課題と展望(授業改善方策)

設問Ⅱの「(1)あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。」は4.6ポイントとなっており、学生の学修意欲は高い傾向にあると考えられる。

より実践的な学修に取り組むための子どもの歌の弾き歌いの発表方法について、今後も継続して検討する必要があると考えられる。

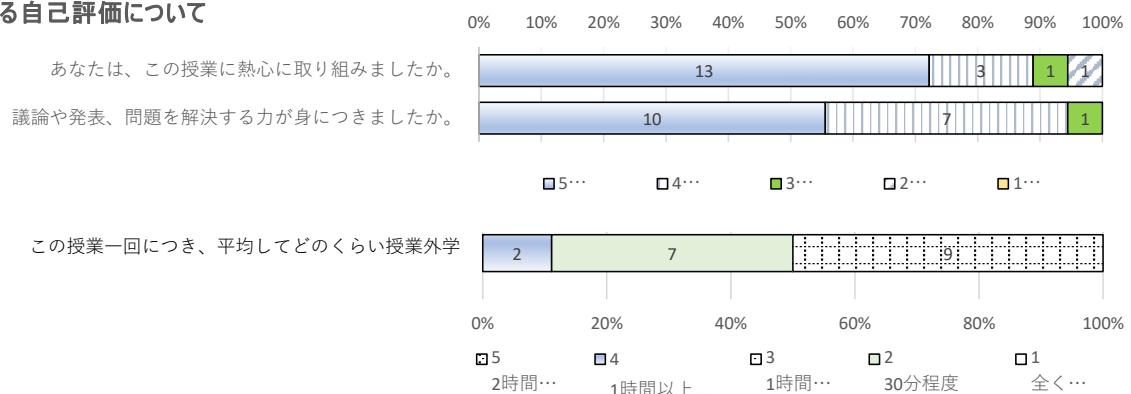
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	14	3	1	0	0	4.7
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	15	3	0	0	0	4.8
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	15	3	0	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	13	5	0	0	0	4.7
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	15	2	0	1	0	4.8
総平均							4.8

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	13	3	1	1	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	10	7	1	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	2	0	7	9	1.7

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

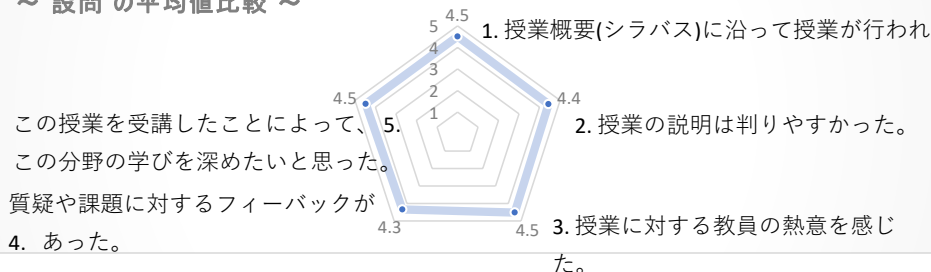
選択授業ということもあり、前年度に比べ履修者が大幅に減っていたことも理由として挙げられるが、総平均が昨年に比べ0.2ポイント向上した。しかしながら、「この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。」及び「あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。」という質問に「あまりそう思わない」と回答した学生が1名いたことから、授業を楽しみながら取り組めなかった学生がいることがわかった。「授業に対する教員の熱意を感じた」には普通以下の回答がなかったことから、熱意は伝わったが、内容に魅力を感じなかったのではないかと推察する。造形が苦手な学生も必ず好きになるような授業であるということを、第1回目の授業で公言していることから、さらなる授業改善が必要であると感じた。また、今年度に至っては、遅刻者が多く、更に「受験資格喪失」者が複数名いたことから、「学びたい」と思わせる授業展開が足りなかったのではと考える。しかし、最後の授業では「この授業が1番好きでした」と話してくれた学生が複数名いたことから、大幅な授業改革は行わず、声掛けや指導法について改善していきたい。

②課題と展望(授業改善方針)

- ・履修者減については、保育実習Ⅰ担当者や担任の先生にも履修を促すよう声掛けしてもらう等の改善策を行う。
- ・受験資格喪失者については、欠席が多い学生に対しての声掛けを常に意識し行っていく。
- ・授業内容については、大幅な改革は行わないが、声掛けや指導法についてよく吟味し、改善していく。特に、造形が苦手な学生に対しては、楽しくなるような工夫や手厚い指導を行う。

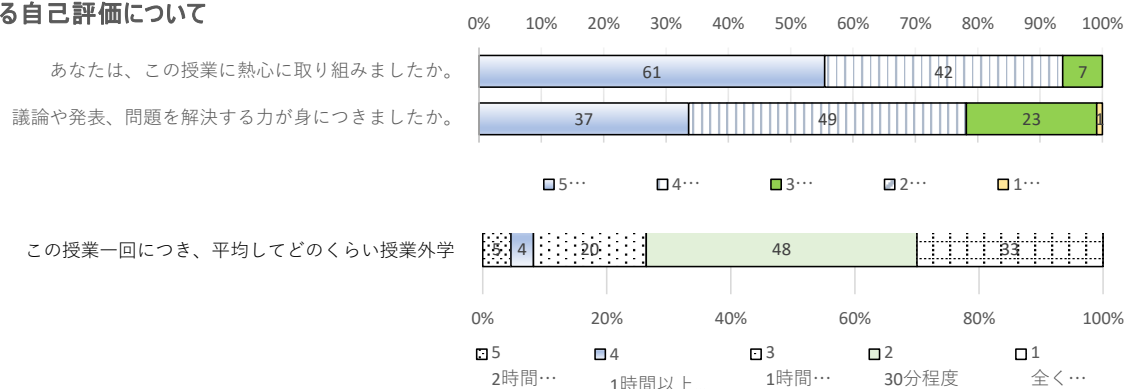
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	60	46	4	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	57	44	9	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	63	41	6	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	50	49	10	1	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	63	37	9	1	0	4.5
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	61	42	7	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	37	49	23	0	1	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	5	4	20	48	33	2.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

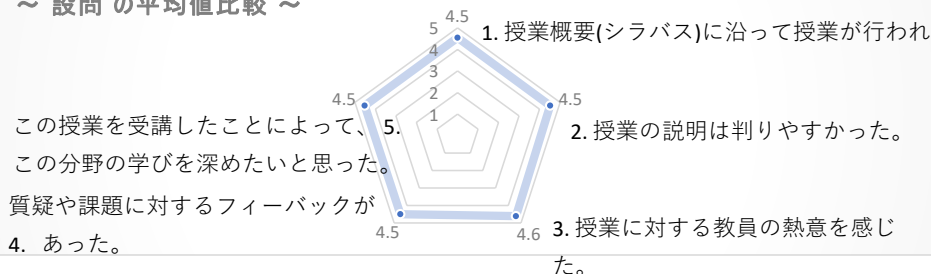
全体評価の平均が4.5(回答数110人)と高く出ている。初めて教育実習に参加する学生にとって、実習に対する期待と不安が入り混じっている中で、初めての实習を乗り越えようとしている学生の意識の表れである。実習を乗り越えようとする学生の期待に応えることが出来たのではないかと考える。

②課題と展望(授業改善方策)

設問Ⅱ(2)「議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか」については、平均4.1とやや低い評価が出ている。初めて実習に参加するにあたり、提出物等の指導に時間を費やし、「実習で何を学ぶのかという」本質的な部分について、学生同士で議論し、それを学生の言葉で表現させる時間が足りなかったことを反省している。また、(3)「この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。」に対しては、平均2.1とかなり低い数字が出ている。提出物に対して家庭での学習の時間は取れていたと考えられるが、絵本の読み聞かせ、手遊び等、具体的な課題を出す必要があったのではないかと反省している。来年度の課題として、授業改善に取り組んでいきたい。

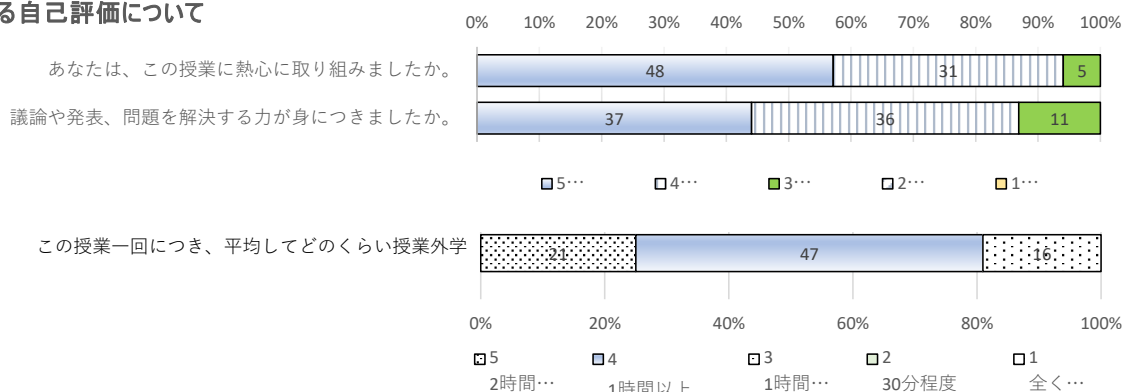
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	50	30	4	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	48	31	5	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	53	29	2	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	45	36	3	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	49	30	5	0	0	4.5
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	48	31	5	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	37	36	11	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	21	47	16	0	0	4.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

施設存在を知り、そのなかにおける保育士の役割について理解を深めるきっかけになる授業を行うことはできた。事前学修についても90分程度を設定して取り組んでおり、欠席は基本的になく、提出物が確実に提出される環境を構築することができた。

②課題と展望(授業改善方策)

管理者や当事者との出会いやコミュニケーションがあることにより、より実感をもった学びが実現することは理解していたが、こうした授業の立案とコロナ対応との兼ね合いを調整できずにいたため、学生の深い学びを提供できなかった。関係者との対話を重視した授業計画を立案し、実施したい。

科目コード: 1114

科目名 卒業研究プレゼミ

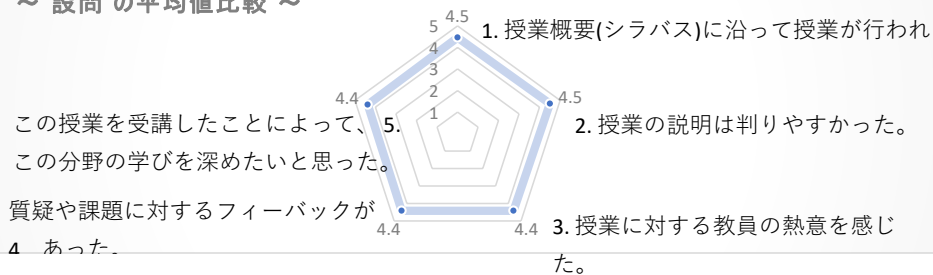
回答者数: 24 名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 演習

担当者 中村敏男(他)

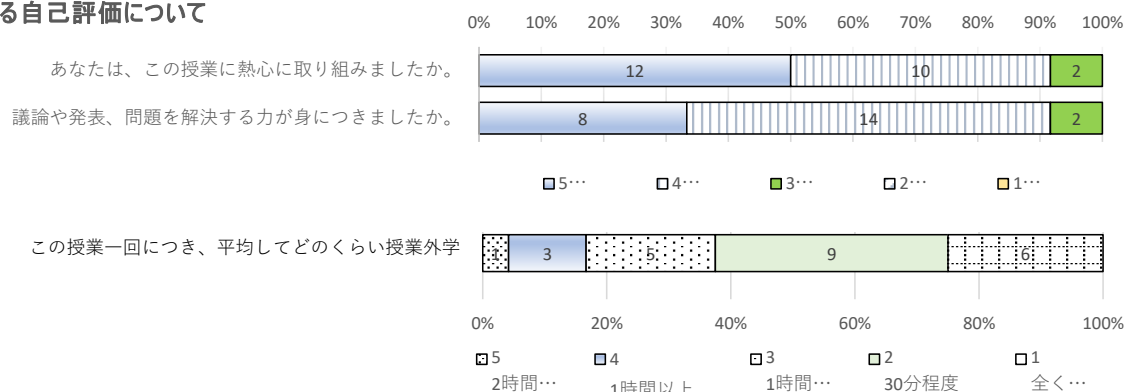
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	11	13	0	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	12	12	0	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	11	12	1	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	10	14	0	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	11	11	2	0	0	4.4
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	12	10	2	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	8	14	2	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	3	5	9	6	2.3

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

1年生にとって、2年生の学びの姿に直接接するのは貴重な経験となる。「来年は自分たちも・・・」という気持ちだが、プレゼミの授業全体に対する充実感を生み出しているものと考え。保育者の専門性を自覚することのできる授業として、一層充実させていきたい。

②課題と展望(授業改善方策)

2年生の卒研ゼミにおける学生の様子からは、卒研ゼミと卒研プレゼミとの連続性が「今一步」という印象がある。研究テーマの模索、SDGSとのかかわりなどについて、プレゼミの段階でさらに踏み込んだ授業展開により、1年生段階で学生が自分のものとして受け止められるよう工夫する必要があるものと考え。

科目コード: 1200

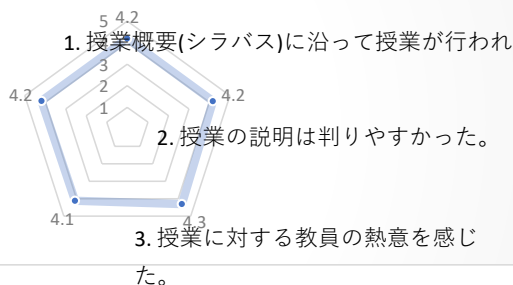
科目名 幼保2年 専門科目

回答者数: 449 名

設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	203	128	118	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	189	152	105	3	0	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	224	141	84	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	176	156	110	7	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	196	141	111	1	0	4.2
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～

この授業を受講したことによって、5.
この分野の学びを深めたいと思った。
質疑や課題に対するフィードバックが
4. あった。

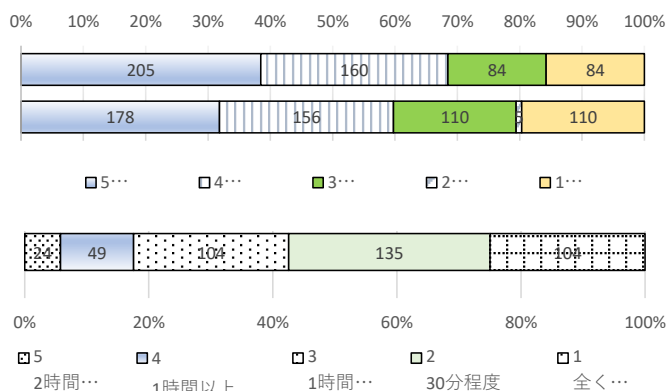


設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	205	160	84	0	84	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	178	156	110	5	110	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	24	49	104	135	104	2.2

2. 学習に対する自己評価について

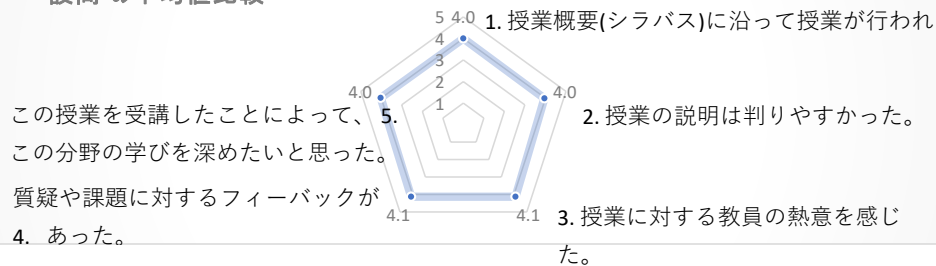
あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。
議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。

この授業1回につき、平均してどのくらい授業外学



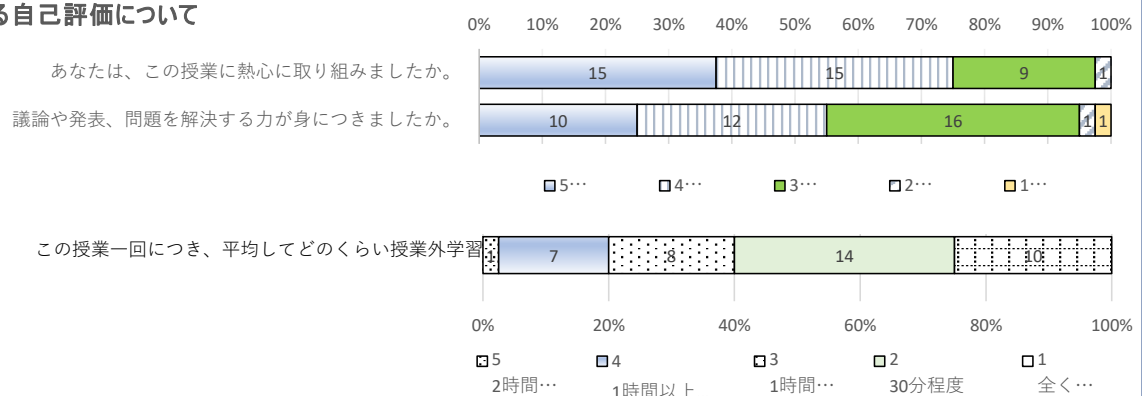
設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	14	12	14	0	0	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	13	14	11	2	0	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	15	15	10	0	0	4.1
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	17	11	12	0	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	15	12	12	1	0	4.0
総平均							4.0

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	15	15	9	1	0	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	10	12	16	1	1	3.7
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	7	8	14	10	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

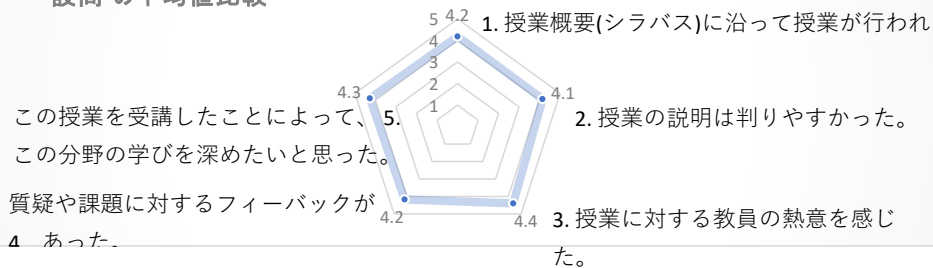
担当して1年目ということで、準備不足が否めない点があったように思う。学生の理解度を確認しながら講義を進めた結果、シラバスに沿った内容にならなかったことも自覚している。幸い極端に悪い評価にはならなかったが、次年度は改善していきたい。

②課題と展望(授業改善方策)

次年度は、現代社会の中で子どものおかれている状況を含めて、学生自身が主体的に考える講義を展開していきたいと思っている。具体的には、これまでの学修内容を前提に、子ども・保護者・現代社会への理解がより深められるよう、事例や社会情勢を踏まえた授業を展開していきたい。家庭支援の切り口は多くあるので、シラバス通り満遍なく進行していく予定である。

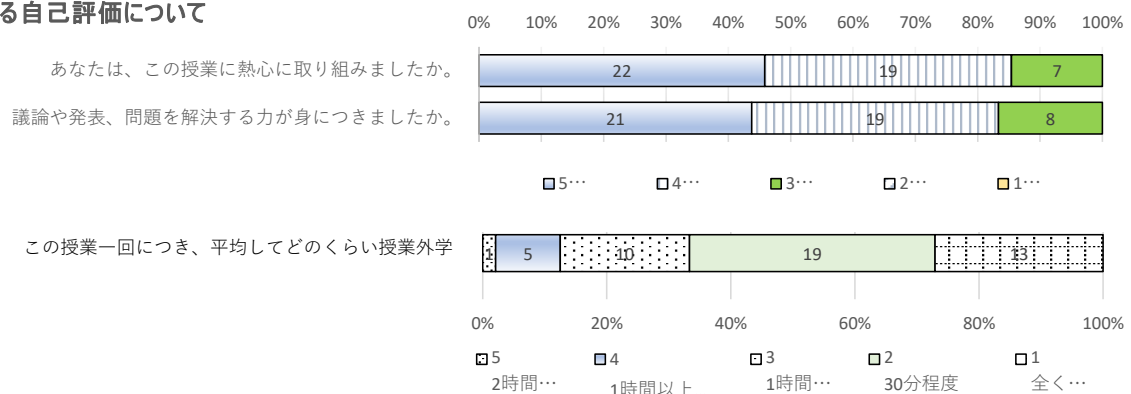
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	21	15	12	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	20	16	11	1	0	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	27	13	8	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	20	17	10	1	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	22	17	9	0	0	4.3
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	22	19	7	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	21	19	8	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	5	10	19	13	2.2

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

この教科は、難しい法律的な内容も多いため、事例を取り上げ課題解決を個人・グループなどで考えさせ黒板に提示させる方法を多く取り入れた結果と考える。

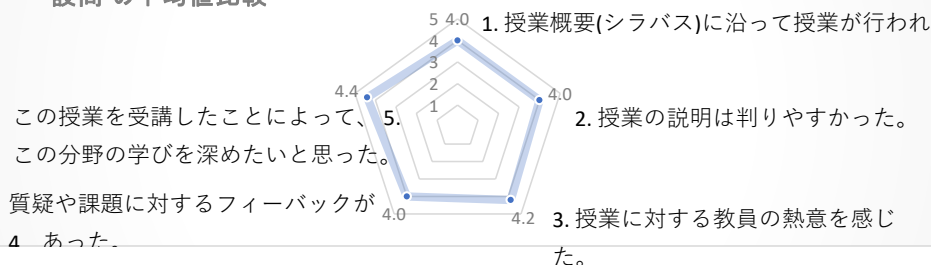
②課題と展望(授業改善方策)

課題提出内容を見るとこの結果のように授業外学習に差が見られたのは当然であった。課題の出し方に工夫が必要である。ワークシート形式アレポート2枚以上などと決める必要がある。

設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	2	1	2	0	0	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	2	1	2	0	0	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	2	2	1	0	0	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	2	1	2	0	0	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	3	1	1	0	0	4.4

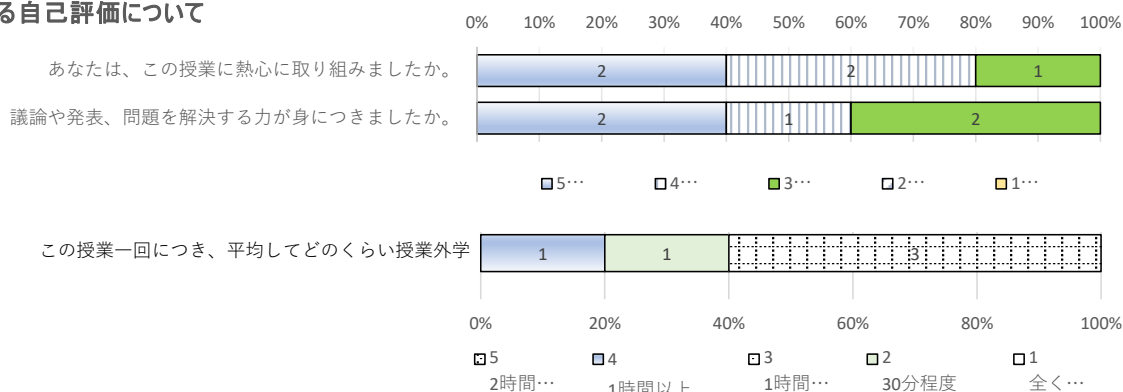
総平均 4.1

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	2	2	1	0	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	2	1	2	0	0	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	1	0	1	3	1.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

授業にはどの学生も真剣に取り組んでいた。課題に立ちして、互いの意見交換を多く取り入れ自尊心を高められた。

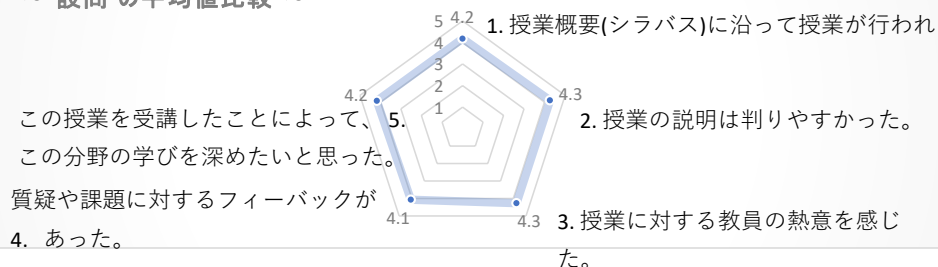
②課題と展望(授業改善方策)

授業開催が月曜日3限の為、1限のキャリア教育だけであつたり授業がない日があつたりと全員が授業に参加した日はないほど、この時間帯は難しい。故に、課題を出し課題に向かつての話し合いを取り入れた。授業外学習の工夫が必要である。

設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	20	13	12	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	23	11	11	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	21	15	9	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	18	13	13	1	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	21	11	13	0	0	4.2

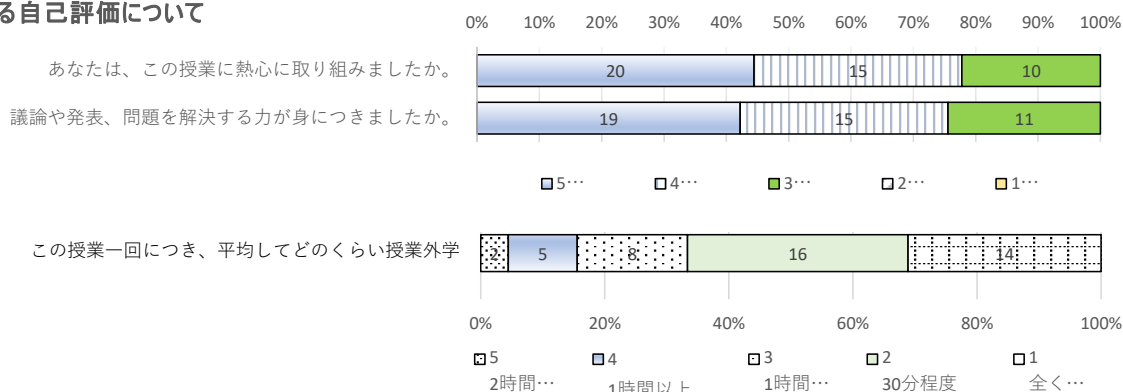
総平均 4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	20	15	10	0	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	19	15	11	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	5	8	16	14	2.2

2. 学習に対する自己評価について

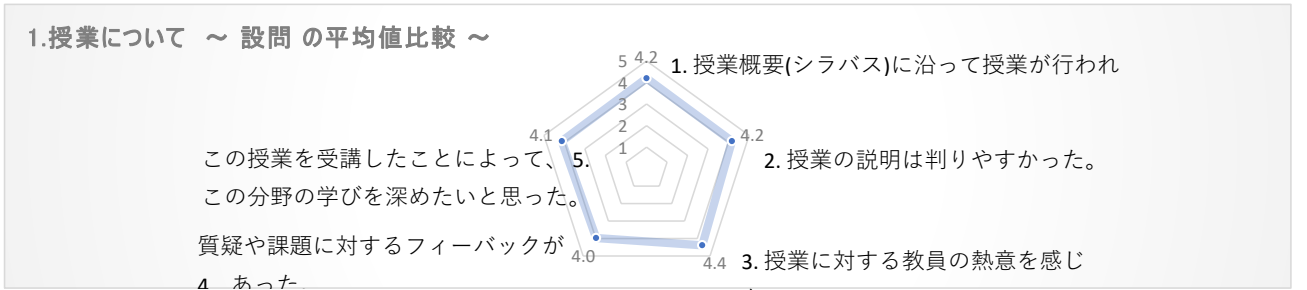


アンケートに対する教員所見

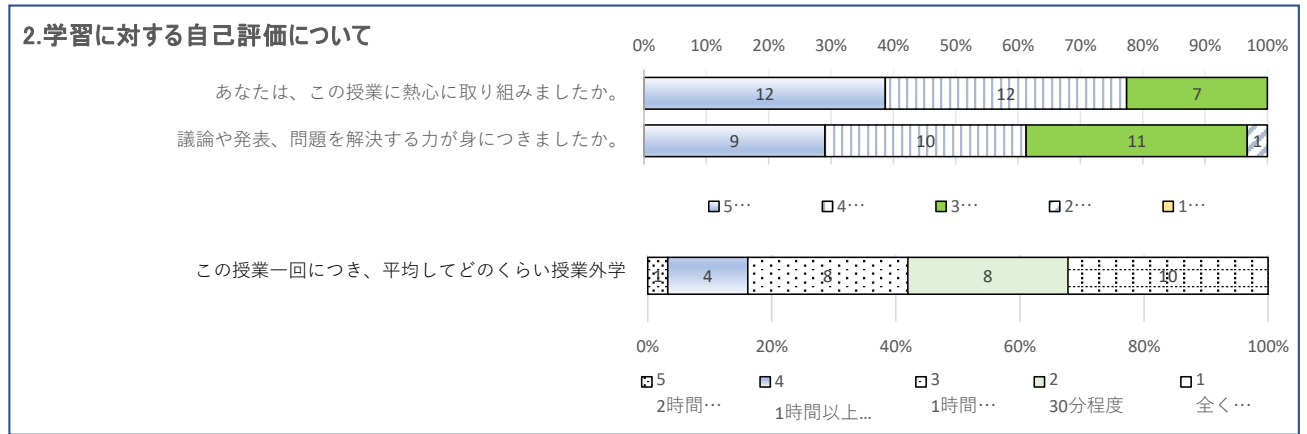
①現状(アンケート結果に対する考察)
実践で使える授業内容を取り上げ、個々に発表をしたり、グループで話し合い活動を計画したりと課題学習を多く取り上げた。しかし人任せな学生にとっては「全くしていない」と答えていると考えられる。

②課題と展望(授業改善方策)
個々の発表を添削しフィードバックをしたが添削だけで終わらず口頭でも行うことがより身につくと思う。

設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	14	9	8	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	13	11	6	1	0	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	18	7	6	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	11	9	10	1	0	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	13	9	9	0	0	4.1
総平均							4.2



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	12	12	7	0	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	9	10	11	1	0	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	4	8	8	10	2.3

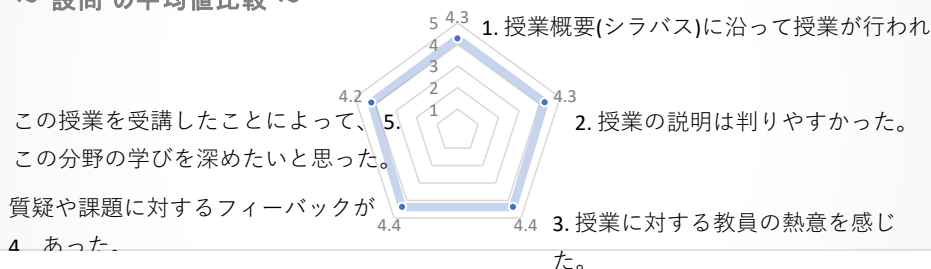


アンケートに対する教員所見

- ①現状(アンケート結果に対する考察)
- 専門科目全体と対比して、この授業についての設問の平均値はほぼ同様の結果であった。
- 学習に対する自己評価については、自身が熱心に取り組めた、議論や発表、問題を解決する力が身についたと思っており、そう思わない人はいなかったという結果は評価できる。その要因として、授業の出欠確認の呼名(テンポ、声量、トーン)も健康観察の演習として全員が経験したこと、現場ですぐに役立つ衛生管理、救命処置(コロナ禍でできる範囲に制限あり)等、授業終了時には毎回授業内容を記録し感想を添えてレポート提出したことがあげられる。
- ②課題と展望(授業改善方策)
- 保育における子どもの健康と安全の実践には、実際に演習授業を体験して基本的な内容を理解することが必要である。しかし、授業の時期として短大2年後期では、保育実習と重なる学生が多く公欠が授業の1/3以上となる者もあり、学生からも実習前に知っておきたかったとの意見も聞かれた。前期での授業が組めれば、実習に向けての学習意欲に繋がるものと思われる。
- 授業への自己評価は授業時間内においては、おおむね興味関心を持ちながら取り組んでいるとしているものの、授業時間外の予習復習においては大きく差があり全くしていない人が1/3占めていることへの改善として、学習課題を具体的に示すことで行動を促す。

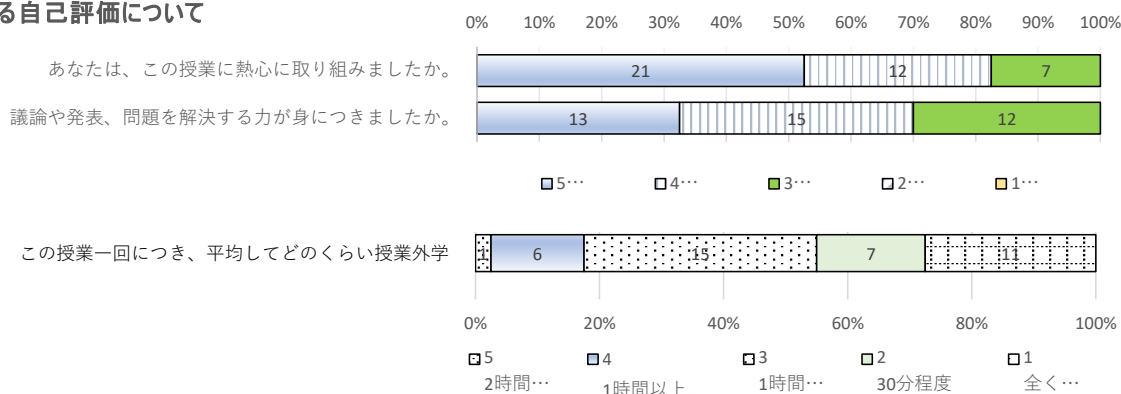
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	19	13	8	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	17	16	7	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	21	13	6	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	20	15	5	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	18	12	10	0	0	4.2
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	21	12	7	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	13	15	12	0	0	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	6	15	7	11	2.5

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

新型コロナウイルス感染防止対策により、3回目までは短縮授業となり30分の家庭学習を課すこととなった。また、この授業は演習であり、本来はグループ討議や発表に重点を置く予定だったが、感染対策が必要となり不十分な形となってしまった。

その分レポートの内容に工夫を凝らし在宅での学びを促したが、設問Ⅱ(3)在宅外学習(予習復習)に「全くしていない」と「30分程度」と答えた学生が18名もいたことは、今後の対策が必要、と痛感した。

設問Ⅰ(5)の「～この分野の学びを深めたいか」の設問について、40名中30名の学生が「5」と「4」に付けたことは評価したい。興味を持ってもらうことが学びの原点であり、きっかけを与えられたことはこの授業の目的の1つが達成できた、と理解した。

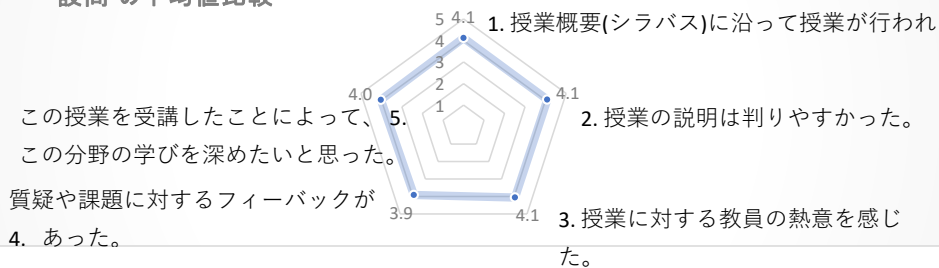
②課題と展望(授業改善方針)

学習は、予習復習があつてこそ理解の定着が図られる。いかに時間外の学習に興味を持って取り組むことができるかが鍵である。課題は、学生にとって身近で馴染みやすい内容にする必要がある。課題に真摯に取り組むことで疑問や質問が生じるからである。

来年度は面接授業が実施され、本来の「演習」ができることを期待したい。学生が自ら課題をまとめて考察できる機会を授業内で設けたい。

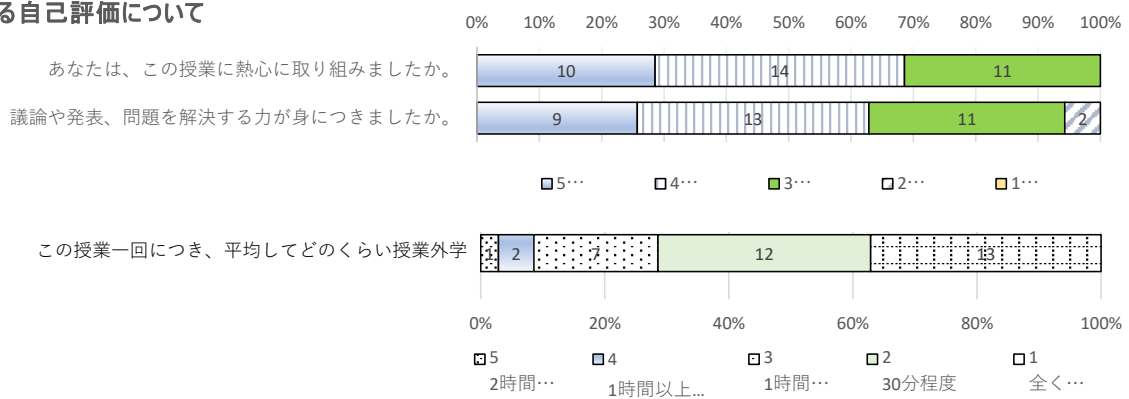
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	14	11	10	0	0	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	12	14	9	0	0	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	11	15	9	0	0	4.1
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	9	15	10	1	0	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	12	13	9	1	0	4.0
総平均							4.0

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	10	14	11	0	0	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	9	13	11	2	0	3.8
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	2	7	12	13	2.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

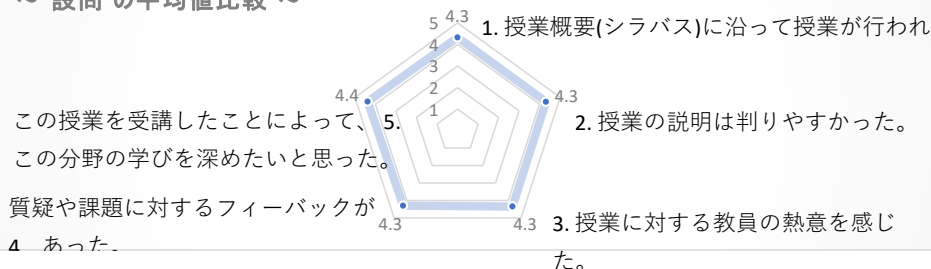
担当教員による本科目における目的は、ある程度達成されているものと考えられる。すなわち、設問Ⅰで学生の回答平均がおおむね4を超えており、担当者が学生に伝えたいことや学んでほしいことは伝わっていると思われる。設問Ⅱでは(2)の平均が若干低いが、授業内容から発表の力はあまり身につけていないと考えられるが、問題解決能力はある程度身につけられていると推測している。

②課題と展望(授業改善方策)

まず、時間外学習の時間が短い点については学生自身が予習復習の習慣が身につけていないことが原因の一つとして考えられる。また、担当者の指示が明確でなかった点も否めない。今後についてはシラバスを含めてもっと明確に予復習の指示が必要であると感じている。授業内容については、保育士課程で見直しが行われた結果、教職課程における教育相談と保育士課程における子育て支援が同居する科目となった。今年度についてはどちらに力点を置くか探りながらの授業展開となってしまうが、内容にメリハリをつけて両課程をしっかりとカバーする授業展開を心掛けることで、これまで以上に学生に対して学びの内容を明確に伝えていく工夫をしていきたい。

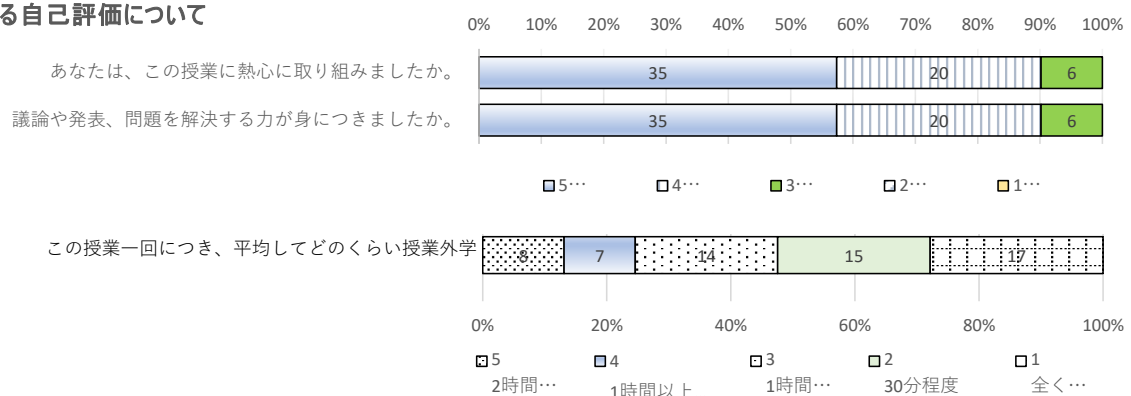
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	32	17	12	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	29	22	10	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	30	22	9	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	31	18	11	1	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	33	18	10	0	0	4.4
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	35	20	6	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	35	20	6	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	8	7	14	15	17	2.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

設問Ⅰの授業についてのアンケート結果は、4.3ポイントという数字であった。この授業の意義を学生もとらえていたのではないかと考えている。設問Ⅰ(5)「この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。」に対しては単近で4.4ポイントの評価があった。電子紙芝居等の新しい分野を意識した授業構成が評価されたのではないかと考えている。この分野の学習は、パソコンの操作技術の差も考慮しなければならない点である。また、電子紙芝居、クリスマス会等の個人、グループの発表の時間をつくり、具体的に評価することができたことはよかったのではないかと考えている。学生の自由記述の中にも新しい分野を学べてよかった、現場で役立つという記述が多く見られた。

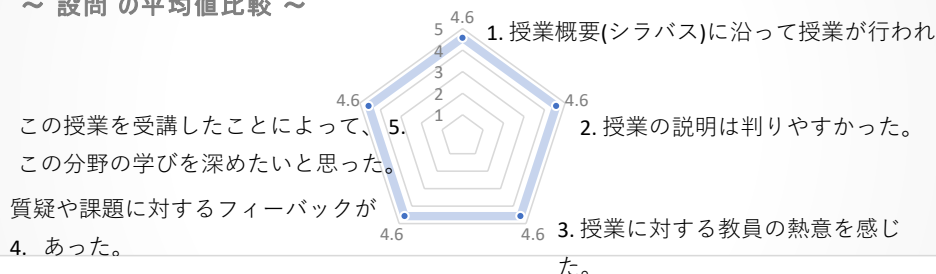
②課題と展望(授業改善方策)

設問Ⅱ(1)「あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。」(4.5)、(2)「議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。」(4.5)と高い評価を得ている。前述したように、この授業では、自分で考え、作成する時間、発表する時間が多く、授業を重ねるごとに、学生の熱意を感じることができた。学生の違った一面を理解することができたのは大きな成果であったと考えている。

発表技術も年々向上しているように感じられる。OSもOfficeもどんどんバージョンアップし、変化が速い。パソコンを持たずスマートフォンやタブレットなどを使用する学生が多くなっている。そのことを踏まえ、パソコンでのキーボード操作や画像処理、スライド作成についての技術向上が課題である。

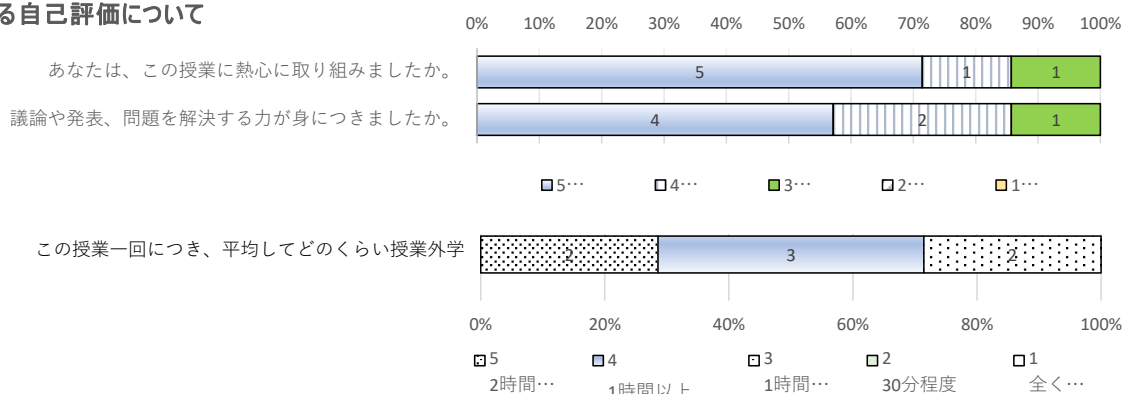
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	5	1	1	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	1	1	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	5	1	1	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	5	1	1	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	5	1	1	0	0	4.6
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	5	1	1	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	4	2	1	0	0	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	3	2	0	0	4.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

長びくコロナ禍によって最初の3回は短縮授業と課題レポートとなったが、演習科目である本授業を毎回対面で行えたことは、学生のモチベーションを維持する上で幸いであった。

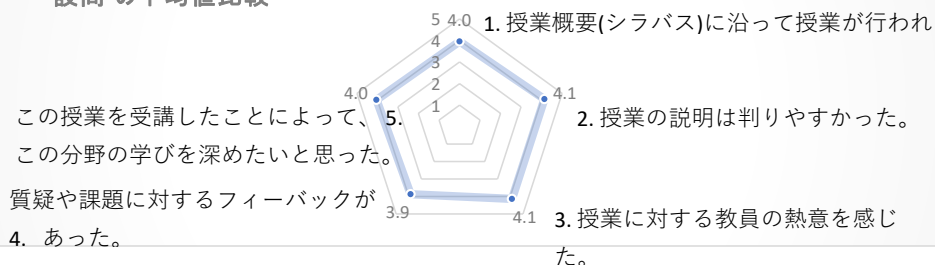
短縮授業の場合も少人数であったため、より学生個々のレベルに応じた指導が行えたと思う。また課題レポートによってその日の授業内容を振り返り、次回以降の改善点・目標をそれぞれ整理できたことは大きな成果につながったと考えられる。

②課題と展望(授業改善方策)

この授業では1年次の「保育のピアノ基礎」で学習した技術の定着とより高度な発展を目指している。これを実現するために、次年度のシラバスの指導内容もリニューアルし、さらに実践的な力を養うべくより魅力のある授業を展開していきたい。具体的には、音楽の軸となる「音階」や「主要な3つの和音」などの理解を深め、幼児教育の現場において近年さらに求められてきている童謡の即興的な伴奏づけなどを確実に実践できるよう、繰り返し演習を行っていきたい。

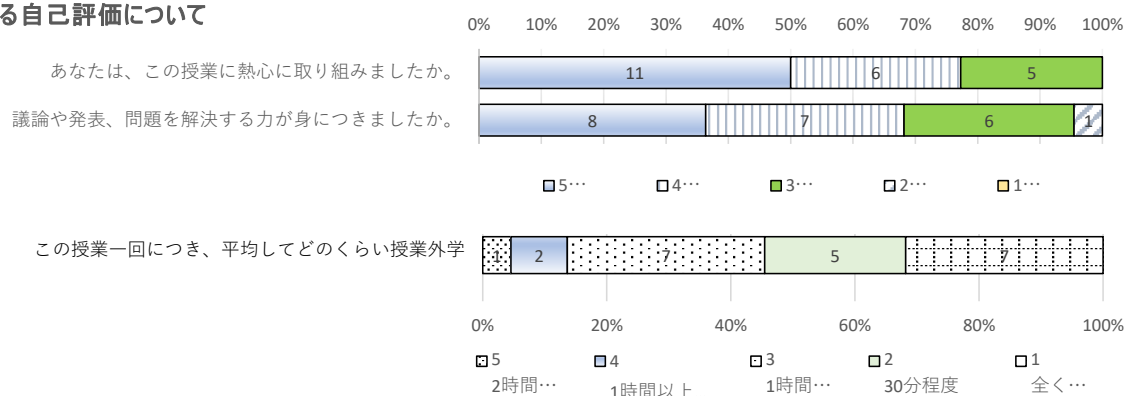
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	8	5	9	0	0	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	9	7	6	0	0	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	9	7	6	0	0	4.1
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	5	9	8	0	0	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	8	7	7	0	0	4.0
総平均							4.0

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	11	6	5	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	8	7	6	1	0	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	2	7	5	7	2.3

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

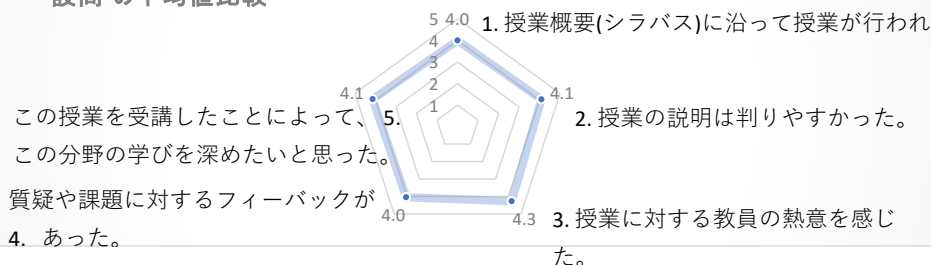
実践に役立つ内容を取り上げ授業展開を行った。また、おそらの部屋を使用し環境設定や実技指導を行った。学生コメントには実際に実習などで役立ち、わかりやすかった。子ども理解が深まったなどの評価があった。

②課題と展望(授業改善方策)

課題についてフィードバックを行った添削だけであった為か理解が伴わない学生がいたと考える。時には一人一人呼び出して伝えることも必要である。今後、具体的、効率的なフィードバックが全学生に対して実施できるよう工夫改善を行っていきたい。

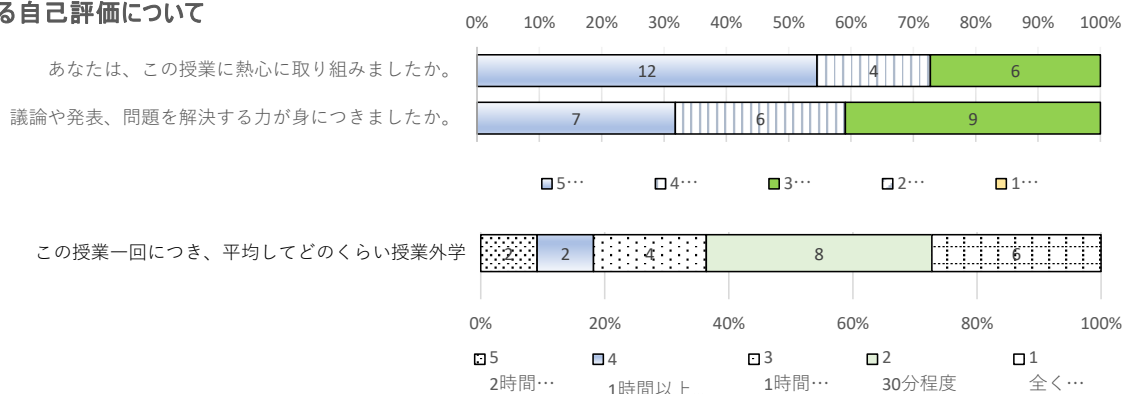
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	9	4	9	0	0	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	10	4	8	0	0	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	11	6	5	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	8	7	7	0	0	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	11	3	8	0	0	4.1
総平均							4.1

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	12	4	6	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	7	6	9	0	0	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	2	4	8	6	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

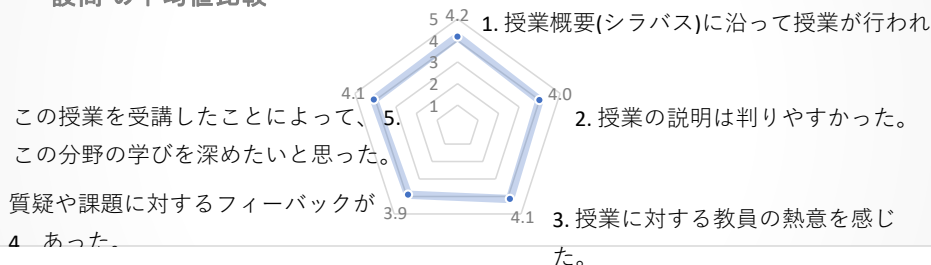
施設保育士として従事するための準備として、各施設の実態に応じた指導案作成に重点を置くことに着目した。しかしながら、保育所等と異なり一日のプログラムが明確化されていない＝生活の流れを作る という思考を育成することができていないことが、問題解決力及び事前学修時間の短さからみられる。

②課題と展望(授業改善方策)

各施設の実際の生活ぶりを、当事者や管理者の声を交えながら提示する等の実感のある学びができておらず、実際に行ってみてわかったというところに至らせてしまう傾向をつくった部分がある。関係者との学び合いになる授業プログラムの立案を検討したい。

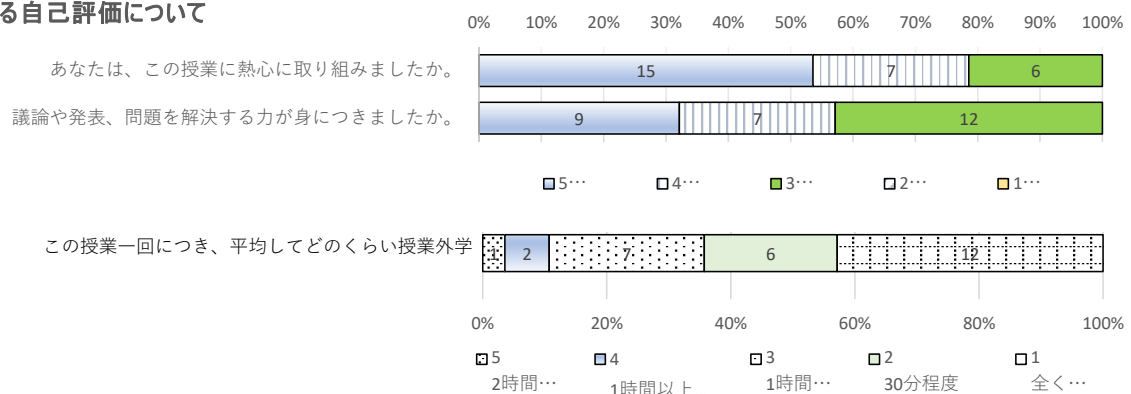
設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	13	7	8	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	10	8	10	0	0	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	12	8	8	0	0	4.1
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	8	10	9	1	0	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	11	8	9	0	0	4.1
総平均							4.1

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	15	7	6	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	9	7	12	0	0	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	2	7	6	12	2.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

アンケートに対する回答者数が、教育実習指導 I (110人)に対して、教育実習 I は(28人)とかなり少ない数であった。単位の認定に対しては、5日間の実習期間のみで実際の授業は行っていない。実習先の評価、実習日誌等によるものであるため、授業として考える、学生の意識が低かったのではないかと考えられる。

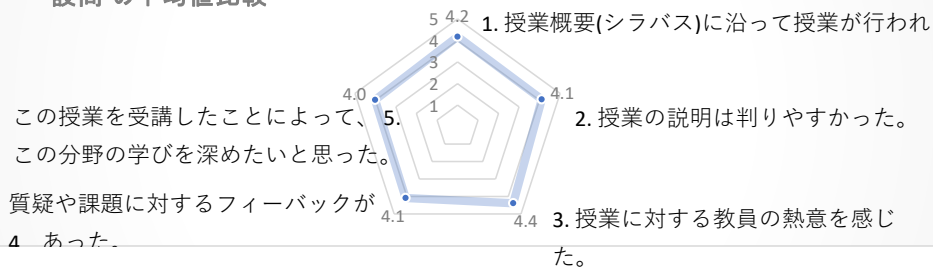
②課題と展望(授業改善方策)

設問 I (2)「質疑や課題に対するフィードバックがあった。」(3.9) 設問 II (2)「議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか」(3.9)とやや低い評価となっている。

今年度、実習終了後、実習に対する自己評価と実習先での評価について、希望者に対してフィードバックする時間をとることができたが、全員を対象に実施することができなかった。研究室に実習の成果と課題について具体的に聞きに来る学生に対しては適切なフィードバックができ、学生も満足した様子が見られた。今後、具体的、効率的なフィードバックが全学生に対して実施できるよう工夫改善を行ってきたい。

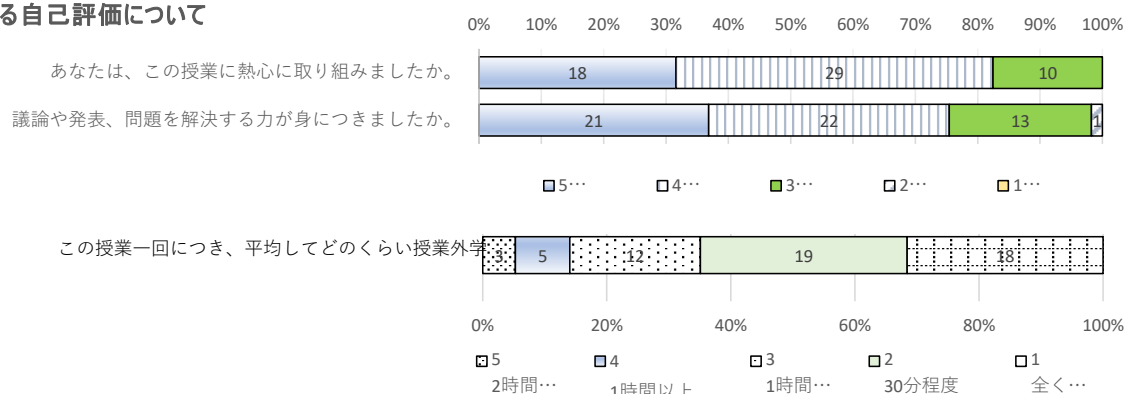
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	25	17	15	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	19	25	13	0	0	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	30	19	8	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	19	24	14	0	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	17	24	16	0	0	4.0
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	18	29	10	0	0	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	21	22	13	1	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	5	12	19	18	2.2

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

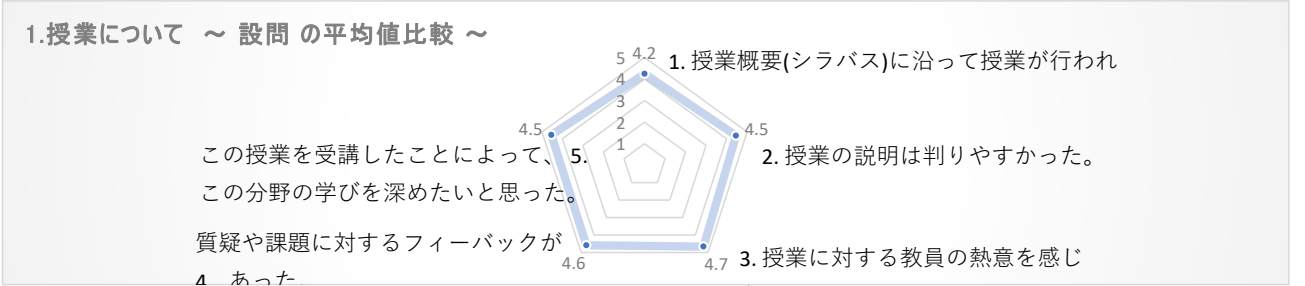
①現状(アンケート結果に対する考察)

この授業の基本的なスタンスの一つとして、各種実習での経験をもとに学びを深めるということを挙げている。その回のテーマに沿って実習を振り返り、互いに実習で得た知識や経験を出し合い、自分の知見を広げること、学生は一定程度の充実感を持ったのではないだろうか。実習で経験した実の場での経験が授業の素材となり、またその学びが就職後の自分の仕事に直接関わってくるという意識をもって学生が授業に臨んでいたようだ。

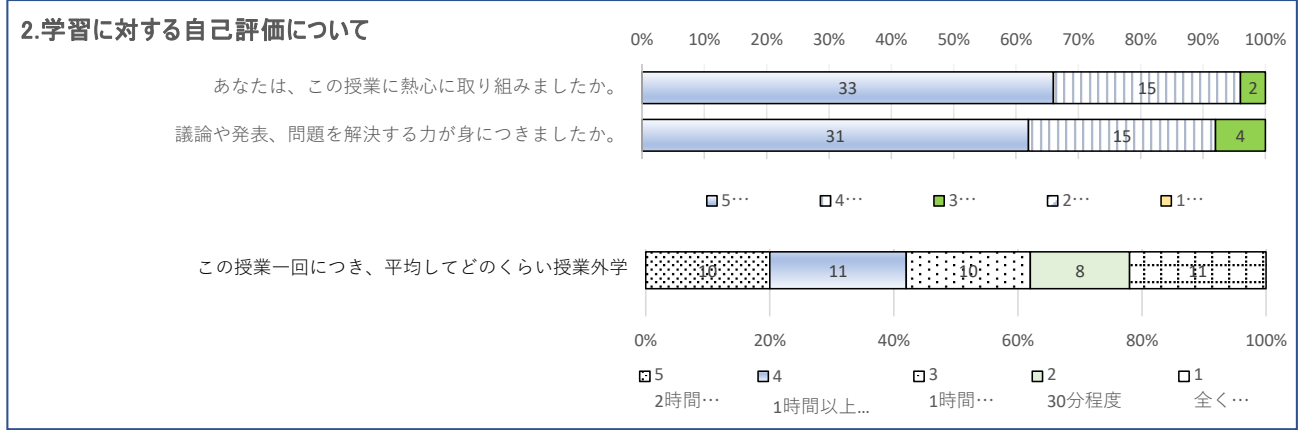
②課題と展望(授業改善方策)

各種実習の前後に行われる「実習指導」との兼ね合いについて検討したり、教員が分担して行う実習訪問の記録なども活かしたりするなど、実習との関わりについて、さらに工夫していきたい。

設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	22	18	10	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	29	15	6	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	37	9	4	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	33	13	4	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	29	19	2	0	0	4.5
総平均							4.5



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	33	15	2	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	31	15	4	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	10	11	10	8	11	3.0



アンケートに対する教員所見

- ①現状(アンケート結果に対する考察)
 自分の設定した課題についての研究活動となるため、充実感や達成感が他の科目に比べて高めているのだろうと考える。卒業研究に対して時間外学修を全くしていない学生が2割を超えるという点について、ゼミごとに指導のあり方を工夫するための見直しが必要である。
- ②課題と展望(授業改善方策)
 「入口」としての研究課題の設定、また「出口」としての発表会について、指導時間の制約もあつて十分ではないという感触を持っている。プレゼミとの関わり、またそれぞれの研究とSDGSとの関係などについて、ゼミごとに研究を深めるとともに、全学共通の取組のあり方を研究する必要があるのではないだろうか。